

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東 大

上場会社名 エーザイ株式会社

コード番号 4523 URL <http://www.eisai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 内藤 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 藤吉 彰 TEL 03-3817-5120

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	598,695	—	73,416	—	66,391	—	39,171	—
20年3月期第3四半期	559,553	11.7	92,540	10.4	96,275	9.7	63,514	13.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	137.49	137.44
20年3月期第3四半期	223.35	223.12

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	1,097,050	—	399,857	—	36.0	—	1,386.58	
20年3月期	1,123,939	—	453,791	—	39.9	—	1,575.49	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 395,043百万円 20年3月期 448,860百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00
21年3月期	—	70.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	780,000	6.2	94,500	432.4	82,500	337.7	46,000	—	161.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有
(個別業績予想数値も当四半期において修正しております。)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、14ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、14～16ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 296,566,949株 20年3月期 296,566,949株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 11,662,792株 20年3月期 11,665,319株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 284,903,710株 20年3月期第3四半期 284,365,124株

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 予想数値、予想の前提条件その他に関する事項については、12～13ページをご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

3. 上記2により、サマリー情報の当連結会計年度に係る対前年同四半期増減率は記載しておりません。

【定性的情報・財務諸表等】

当文章中の前年同期と比較した指標、金額は「参考値」として記載しております。
 なお、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との会計処理の変更に伴う差異は、
 14～16ページ「5. その他」に記載しております。

1. 連結経営成績に関する概要

1) 当第3四半期連結累計期間の経営成績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）
 [売上高、利益の状況]

○ 当第3四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	5,986億95百万円	(前年同期比)	7.0%増
営業利益	734億16百万円	(同)	20.7%減
経常利益	663億91百万円	(同)	31.0%減
四半期純利益	391億71百万円	(同)	38.3%減

○ 売上高については、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」が2,289億60百万円（前年同期比4.5%増）と増加しましたが、プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット」（米国名「アシフェックス」）は1,231億78百万円（同12.0%減）となりました。また、制吐剤「Aloxi」の売上高は279億84百万円、DNAメチル化阻害剤「Dacogen」の売上高は125億81百万円となりました。また、所在地別には、北米、中国が伸長し、日本が堅調に推移いたしました。

○ 前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴うのれん償却額の計上や研究開発活動への積極的資源投入の結果、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに減益となりました。

○ これにより、1株当たり四半期純利益は137円49銭（前年同期より85円87銭減）となりました。

<実業ベース>

○ 企業活動の実態を見るため、「GAAPベース」（現行の会計基準ベース）から前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除き算出した「実業ベース」での連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	5,986億95百万円	(前年同期比)	7.0%増
営業利益	954億87百万円	(同)	3.2%増
経常利益	884億63百万円	(同)	8.1%減
四半期純利益	559億1百万円	(同)	12.0%減

○ 支払利息および為替差損の増加、投資有価証券評価損の計上により、実業ベースでの経常利益および四半期純利益は減益となりました。

○ これにより、実業ベースでの1株当たり四半期純利益は196円21銭（前年同期より27円14銭減）となりました。

<キャッシュ創出力>

- 当社はキャッシュ・インカムが成長投資、事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、「キャッシュ創出力」を表わすものと考えております。よって、企業の成長性・戦略を検証する尺度として記載しております。

キャッシュ・インカムは900億14百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

*キャッシュ・インカムの算式（当四半期より定義を一部変更しております）

当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額
＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

[セグメントの状況]

（各セグメントの売上高は外部顧客に対するものです）

(1) 事業の種類別セグメント

<医薬品分野>

- 「アリセプト」が堅調に推移し、前期に買収した MGI PHARMA, INC.の主力2製品の「Aloxi」「Dacogen」が売上増に貢献いたしました。
- この結果、医薬品分野の売上高は5,827億86百万円（前年同期比7.4%増）となりましたが、MGI PHARMA, INC.買収に伴うのれん償却額の計上や研究開発活動への積極的資源投入により、営業利益は756億48百万円（同19.6%減）となりました。

<その他の分野>

- 食品添加物、化学品、製薬用機械等の売上高は159億8百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益は13億76百万円（同9.7%減）となりました。

(2) 所在地別セグメント

<日 本>

- 売上高は2,584億78百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は研究開発活動への積極的資源投入により609億25百万円（同15.4%減）となりました。
- 医療用医薬品では、「アリセプト」の売上高は609億86百万円（前年同期比24.5%増）、「パリエット」の売上高は350億37百万円（同18.7%増）とそれぞれ伸ばいたしました。
- ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ皮下注 40mg シリンジ 0.8mL」を関節リウマチの効能・効果で平成20年6月に新発売いたしました。

<北 米>

- 売上高は2,771億95百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は68億78百万円（同59.5%減）となりました。前期の MGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除き算出した「実業ベース」での営業利益は289億50百万円（同70.6%増）であります。
- 「アリセプト」の売上高は1,390億98百万円（前年同期比1.2%増、現地通貨では15.4%増）、「アシフェックス」の売上高は764億83百万円（同23.1%減、現地通貨では12.3%減）となりました。また、制吐剤「Aloxi」の売上高は279億84百万円、DNAメチル化阻害剤「Dacogen」の売上高は125億81百万円となりました。

- 術後の悪心・嘔吐予防を効能・効果とする「Aloxi 注射剤 0.075mg」の販促活動を平成20年7月に開始いたしました。

< 欧 州 >

- 売上高は406億47百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は26億75百万円（同81.0%増）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は229億71百万円（前年同期比12.7%減）、「パリエット」の売上高は75億39百万円（同15.1%増）となりました。

< 中 国 >

- 売上高は85億91百万円（前年同期比21.1%増）、営業利益は17億29百万円（同25.1%増）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は6億92百万円（前年同期比5.2%増）、「パリエット」の売上高は5億16百万円（同0.3%減）となりました。

< ア ジ ア 他 >（中国を除く）

- 売上高は137億82百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は31億26百万円（同7.0%増）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は52億10百万円（前年同期比7.0%減）、「パリエット」の売上高は36億円（同6.5%減）となりました。

< 海 外 計 >

- 日本を除く海外所在地別売上高の合計は、3,402億16百万円（前年同期比8.7%増）となり、売上高比率は56.8%（前年同期より0.9ポイント増）となりました。

2) 当第3四半期連結会計期間の業績概況 (平成20年10月1日～平成20年12月31日)

- 当3カ月間の連結売上高は、1,998億66百万円(前年同期比1.6%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は763億83百万円(前年同期比2.3%減)で、うち日本が227億32百万円(同20.0%増)、米国が458億33百万円(同4.6%減、現地通貨では12.0%増)となりました。
「パリエット/アシフェックス」は406億23百万円(前年同期比14.8%減)で、うち日本は133億56百万円(同18.8%増)、米国が236億5百万円(同28.6%減、現地通貨では15.9%減)となりました。
また、制吐剤「Aloxi」の売上高は90億63百万円、DNAメチル化阻害剤「Dacogen」の売上高は39億15百万円となりました。
- 所在地別の外部顧客に対する売上高は、日本が前年同期比3.4%増、北米が同4.4%増、欧州が同19.3%減、中国が同8.1%増、アジア他(中国除く)が同23.0%減となりました。
- 研究開発費は388億78百万円(前年同期比8.8%増)、販売費・一般管理費944億80百万円(同2.2%減)となりました。売上原価は396億35百万円(同36.9%増)で、売上原価率は19.8%(前年同期より5.1ポイント増)となりました。
- 営業利益は268億71百万円(前年同期比24.3%減)、経常利益は227億81百万円(同37.9%減)、第3四半期純利益は104億58百万円(同56.7%減)となり、1株当たり四半期純利益は、36円71銭(前年同期より48円15銭減)となりました。
なお、実業ベースの営業利益は335億70百万円(前年同期比5.4%減)、経常利益は294億80百万円(同19.7%減)、四半期純利益は156億39百万円(同35.3%減)となり、1株当たり四半期純利益は、54円89銭(前年同期より29円96銭減)となりました。
- 営業活動から得たキャッシュ・フローは、16億28百万円(前年同期より84億94百万円減)となりました。税金等調整前四半期純利益は171億80百万円、減価償却費は118億85百万円、売上債権の増加額は188億19百万円、法人税等の支払額は188億55百万円であります。
投資活動によるキャッシュ・フローは、198億30百万円の支出(前年同期より106億34百万円増)となりました。そのうち、有形固定資産の取得に75億24百万円を支出いたしました。
財務活動によるキャッシュ・フローは、194億68百万円の収入(前年同期より181億57百万円増)となりました。

3) 研究開発などの状況

[開発品の状況]

- 抗がん剤「E7389」(微小管伸長阻害剤)は、乳がんを対象としたフェーズⅢ試験を欧米で実施しており、日本でもフェーズⅡ試験が進行中であります。また、非小細胞肺癌(米国)、前立腺がん(欧米)、肉腫(欧州)を対象としたフェーズⅡ試験を進めております。
- AMPA受容体拮抗剤「E2007」は、神経因性疼痛、てんかんの2つの適応における開発に集中展開しております。欧米において、てんかんを対象としたフェーズⅢ試験を開始し進行中であり、神経因性疼痛を対象としたフェーズⅡ試験を進めております。日本では、てんかんを対象としたフェーズⅡ試験を開始いたしました。
- エンドトキシン拮抗剤「E5564」は、日本、米国、欧州での同時申請をめざして、重症敗血症を対象としたフェーズⅢ試験が進行中であります。本試験は、国際共同試験として取り組んでおります。
- 平成20年8月、制吐剤「Aloxi」の新剤形である経口剤(カプセル剤)は、米国で「がん化学療法に伴う急性悪心・嘔吐予防」の効能・効果で剤形追加承認を取得いたしました。
- 平成20年10月、皮膚T細胞リンパ腫(CTCL)治療剤「Ontak」静注剤は、「悪性細胞がインターロイキン2(IL-2)受容体の構成要素CD25を発現している(CD25+)持続性もしくは再発性のCTCLの治療」を効能・効果とした生物製剤追加承認申請(sBLA)について、FDA(米国食品医薬品局)による優先審査の結果、承認されました。これにより、すでに取得していた迅速承認から完全承認に切り替わりました。一方、悪性細胞がIL-2受容体の構成要素CD25を発現していない(CD25-)CTCLに関するsBLAも提出してはいましたが、本件については、FDAよりComplete Response Letterを受領し、承認に至りませんでした。今後、適切な対応についてFDAと協議を進めてまいります。
- 平成20年11月、てんかん治療剤「Banzel」は、米国で「4歳以上の小児および成人におけるレノックス・ガストー症候群に伴うてんかん発作の併用療法」の効能・効果で承認を取得いたしました。一方、「成人および12歳以上の青年期における、二次性全般化を伴うもの、伴わないものを含む、部分てんかんの併用療法」の効能・効果についても承認申請を提出してはいましたが、本件については、FDAよりComplete Response Letterを受領し、承認に至りませんでした。今後、適切な対応についてFDAと協議を進めてまいります。
- 平成20年12月、鎮静剤「Lusedra」は、米国で「成人の検査もしくは処置における鎮静」の効能・効果で承認を取得いたしました。FDAは、本剤を規制物質に指定することを推奨しております。最終的な分類は、米国麻薬取締局が米国官報にて分類指定案を公表後、公示期間を経て決定されます。
- DNAメチル化阻害剤「Dacogen」は、米国で骨髄異形成症候群の治療において5日間投与とする用法・用量追加の申請準備中であります。

- 抗がん剤「E7080」(VEGFチロシンキナーゼ阻害剤)は、米国で甲状腺がんを対象としたフェーズII試験を開始し進行中であります。
- 平成20年4月、ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」は、日本で「関節リウマチ」の効能・効果で製造販売承認を取得いたしました。また、関節の構造的損傷の防止を対象としたフェーズIII試験、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズII/III試験をそれぞれ開始いたしました。
- 平成20年5月、非イオン性造影剤「イオメロン350」「イオメロン350シリンジ」は、日本で肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影に関する用法・用量の追加承認を取得いたしました。あわせて、「イオメロン350シリンジ」の高容量製剤である135mL製剤の剤形追加承認も取得いたしました。
- 不眠症治療剤「SEP-190」(GABA-A受容体作動剤)は、日本で不眠症を対象としたフェーズIII試験を開始し進行中であります。
- 平成20年9月、消化管運動機能改善剤「ガスマチン」は、タイで「機能性胃腸症」の効能・効果で製造販売承認を取得いたしました。また、マレーシア、インドネシア、フィリピンでは申請中、他のアセアン諸国等6カ国では申請準備中であります。
- アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」は、平成20年10月、英国で液剤の剤形追加承認を取得いたしました。
- 平成20年6月、プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット/アシフェックス」は、米国で青年期(12歳以上)胃食道逆流症の短期治療(上限8週間)に係る追加承認を取得いたしました。また、日本で逆流性食道炎の用法・用量追加に関するフェーズII/III試験を開始し進行中であります。
- 平成20年4月、欧州委員会は、抗がん剤「MORAb-003」(モノクローナル抗体)、抗がん剤「MORAb-009」(モノクローナル抗体)をオーファンドラッグ(希少疾病用医薬品)に指定いたしました。なお、平成20年6月より「MORAb-009」のフェーズII試験の実施施設を欧州連合(EU)内にも拡大いたしました。

[主な提携などの状況]

- 平成20年4月、当社の診断薬事業子会社の三光純薬株式会社、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社、日本光電工業株式会社と、ロシュ社(スイス)が開発したPT-INR(プロトロンビン時間国際標準比)簡易・迅速測定装置「コアグチェックXS」「コアグチェックXS Plus」ならびにその関連製品について、販売に関する各種契約を締結することに合意いたしました。これらの契約合意に基づき、平成20年6月より「コアグチェックXS」シリーズの日本での販売を日本光電工業とロシュ・ダイアグノスティックスから三光純薬に移管し、当社が販売支援を行っております。ロシュ・ダイアグノスティックスは従来どおり製造(輸入)販売元となり、日本光電工業は発売元として販売・技術面でのサポートを行っております。

- ライオン株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社と、ライオンが日本で製造販売承認を有する医療用医薬品の抗血小板剤「バファリン 81mg 錠」、解熱鎮痛消炎剤「バファリン 330mg 錠」に関し、平成20年7月1日より販売元をブリストル・マイヤーズから当社に変更することで合意し、平成20年5月、ライオンと日本における同製品の独占的販売権許諾に関する契約を締結いたしました。
- グラクソ・スミスクライン株式会社と、同社グループが製造し、日本で当社が販売していた鼻孔拡張テープ「ブリーズライト」シリーズの販売提携について、平成20年5月31日をもって終了することで合意いたしました。平成20年6月1日から、グラクソ・スミスクラインが日本で本製品を販売しております。
- 平成20年6月、当社の連結子会社である株式会社クリニカル・サプライの当社が所有する全株式（発行済株式数の84.8%）をテルモ株式会社に譲渡する旨の株式売買契約をテルモとの間で締結し、株式を譲渡いたしました。
- 平成20年6月、当社の米国子会社である **Morphotek, Inc.**は、米国立がんセンターと同センターの研究者が新たに発見した抗原に対するモノクローナル抗体の開発について、ライセンス契約を締結いたしました。今後、**Morphotek, Inc.**は、独自の **MORPHODOMA** 抗体技術を使用し、前立腺がん治療用の新たなヒト抗体治療薬の開発をめざしてまいります。
- 平成20年7月、当社の中国子会社である衛材（中国）薬業有限公司は、**STADA** 社（ドイツ）の中国販売子会社であるヘルスビジョンエンタープライズ社（香港）と、**STADA** 社が開発した糖尿病性神経因性疼痛治療剤「 α -Lipon 300 **STADA**」（一般名： α -リポ酸）に関して、中国における販売およびリパック（半製品への小分け製造）等に関わるライセンス契約を締結いたしました。
- 平成20年7月、**Morphotek, Inc.**は、**Pivotal BioSciences, Inc.**（米国）と、同社の **LEC**（Liver-Expression Chemokine）基盤技術（ヒト免疫系の機能を増強し効果的な抗腫瘍反応を惹起する技術）の利用に関する契約を締結いたしました。本契約により、**Morphotek, Inc.**は、**LEC**基盤技術を評価した上で、ライセンス権についてのオプションを行使できる権利を得ることになりました。オプション権が行使された場合、**Morphotek, Inc.**は、治療用モノクローナル抗体の開発にあたり **Pivotal BioSciences, Inc.**より全世界における **LEC**基盤技術のライセンスを受け、この技術を用いて開発された製品を商業化する権利を保有することになります。
- 平成20年8月、シンバイオ製薬株式会社（東京都）と、同社が日本における独占的開発および販売権を有する「ベンダムスチン塩酸塩」に関して、日本における共同開発および販売に係る独占的ライセンス契約を締結いたしました。現在、日本ではシンバイオ製薬が低悪性度非ホジキンリンパ腫を対象として、申請に向けた最終段階の臨床試験を実施中であります。
- 平成20年11月、**Morphotek, Inc.**は、ペンシルバニア大学（米国）と研究支援契約を締結いたしました。本契約により、**Morphotek, Inc.**は、ペンシルバニア大学による腫瘍内の低酸素領域に関連する抗原をターゲットとする治療用抗体候補の開発を目的とした研究に対する助成金の提供をすることになります。

- 平成20年11月、Morphotek, Inc.は、進行中のがん領域における治療用抗体の探索研究および開発を推進するため、ハイデルベルク大学病院（ドイツ）および同大学の技術移転事務所と研究契約を締結いたしました。本契約により、ハイデルベルク大学およびドイツ国立腫瘍センターは、Morphotek, Inc.に対し、Morphotek, Inc.が選定した腫瘍ターゲットに対する治療用モノクローナル抗体開発を目的とした候補物質の探索研究・評価を行うための研究材料を提供し、Morphotek, Inc.は研究助成金を提供いたします。
- 平成20年11月、TorreyPines Therapeutics, Inc.（米国）と、平成14年より締結していた遅発性アルツハイマー病の関連遺伝子探索研究に関する契約を完了いたしました。これに伴い、本研究において得られた全てのデータおよび研究資産を TorreyPines Therapeutics, Inc.から購入する契約を締結いたしました。

[その他]

- 平成20年7月、米国連邦巡回控訴裁判所は、当社と当社の米国事業会社 Eisai Inc.が、米国において後発医薬品メーカーに対して提訴していたプロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「アシフェックス」（日本での製品名「パリエット」）に関する物質特許侵害訴訟について、米国ニューヨーク州南部地区連邦地方裁判所が示した本剤の物質特許が有効とする略式判決および本特許が権利行使可能であるとする判決の双方を支持するとの判断を示しました。

2. 連結財政状態に関する概要

[資産等の状況]

- 当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1兆970億50百万円（前期末より268億88百万円減）となりました。主な減少は、為替レートの変動に伴う海外子会社資産の円換算によるものであります。また、勘定科目別には、無形固定資産、投資有価証券などは減少し、有価証券、受取手形及び売掛金などは増加いたしました。
- 負債合計は6,971億92百万円（前期末より270億44百万円増）となりました。
- 純資産合計は3,998億57百万円（前期末より539億33百万円減）となり、自己資本比率は36.0%（前期末より3.9ポイント減）となりました。

[資金調達の状況]

- 当第3四半期連結会計期間末の短期借入金は450億円（前期末より3,178億19百万円減）、社債は1,205億91百万円（同1,197億61百万円増）、長期借入金は2,737億21百万円（同2,237億21百万円増）となりました。
- 社債は、平成20年6月に国内において総額1,200億円の無担保普通社債を発行し、長期借入金は、平成20年7月と8月に銀行、生命保険会社等から1,600億円を調達いたしました。
- 前期にMGI PHARMA, INC.の買収資金として短期借入を行いました。買収のための短期借入金はすべて平成20年8月までに社債と長期借入金にシフトいたしました。
- 当社の財務戦略は、現水準以上の高い信用格付けを維持するとともに、安定した財務の健全性および柔軟性を確保することを基本としております。
- 現在の長期借入債務の格付けは、ムーディーズによって「A」、格付投資情報センターによって「AA-」であります。

[キャッシュ・フローの状況]

- 当第3四半期連結累計期間の営業活動から得たキャッシュ・フローは、709億65百万円（前年同期より191億12百万円増）となりました。税金等調整前四半期純利益は607億87百万円、減価償却費は367億85百万円、売上債権の増加額は276億8百万円、法人税等の支払額は358億80百万円であります。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、368億39百万円の支出（前年同期より249億81百万円減）となりました。そのうち、有形固定資産の取得に274億28百万円を支出いたしました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、60億73百万円の支出（前年同期より113億91百万円減）となりました。配当金の支払いに384億62百万円を支出いたしました。
- 以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、1,303億7百万円（前期末より103億57百万円増）となりました。

3. 利益配分に関する考え方および期末配当予想

当社は委員会設置会社であり、剰余金の配当等に関しては機動的に行うことを目的として取締役会決議とすることを定款に定めております。

株主還元については、連結業績ならびに純資産配当率（DOE）等を勘案し、株主の皆様へ継続的・安定的な配当を実施してまいります。DOEは、株主の皆様への利益配分を示す配当性向（DPR）と、株主の皆様が投資した資金を使いどれだけ効果的に利益を出せたかを示す自己資本当期純利益率（ROE）の2つの要素が含まれていることから、株主還元指標としてバランスのとれた相応しいものと考えております。

期末配当金は、従来予想どおり1株当たり70円（前年同期より5円増）を予定いたします。1株当たり中間（第2四半期末）配当金70円とあわせ、年間配当金は1株当たり140円（前期より10円増）、DOEは9.4%を見込んでおります。

自己株式の取得に関しては、適切な時期に機動的に実施いたします。

4. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

[連結業績予想]

- 通期の連結業績の見通しについては、昨年10月に発表した予想を次のとおり修正いたします。

	今回発表予想		前回発表予想		増減額 (A-B)	増減率
	(A)	前期比	(B)	前期比		
売上高	7,800億円	6.2%増	8,060億円	9.8%増	△260億円	△3.2%
営業利益	945億円	432.4%増	940億円	429.6%増	5億円	0.5%
経常利益	825億円	337.7%増	865億円	358.9%増	△40億円	△4.6%
当期純利益	460億円	—	565億円	—	△105億円	△18.6%

* 1株当たり予想当期純利益(通期) 161円46銭
(第4四半期の前提為替レート: 1米ドル90円、1ユーロ120円、1ポンド125円)

<売上高>

- 売上高については、主力品の「アリセプト」や抗がん剤領域製品は好調に推移しておりますが、円高等の影響により、前回予想より260億円減額となる7,800億円を見込んでおります。
- 主力品の「アリセプト」は前回より110億円減額となる3,030億円、「パリエット/アシフェックス」は40億円減額の1,570億円を見込んでおります。

<利益>

実業ベースの予想を次のとおりといたします。

- 円高による売上高の減少を見込みますが、営業費用の減少も見込まれることに加え、販売管理費のさらなる効率化を推進することにより、実業ベースの営業利益については、前回予想どおりの1,225億円を見込んでおります。
- 経常利益は、為替差損の発生により、前回より45億円減額となる1,105億円を見込んでおります。
- 当期純利益は、株式市況の低迷による投資有価証券評価損等の発生により、前回から113億円減額となる670億円を見込んでおります。

上記、実業ベースの予想を踏まえ、GAAPベースの予想を次のとおり修正いたします。

- 営業利益は、MGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計処理の円高による減少を見込み、前回予想より5億円増額となる945億円を見込んでおります。
- 経常利益は前回より40億円減額の825億円、当期純利益は105億円減額となる460億円を見込んでおります。
- 今後も、持続的な成長に向けて研究開発活動をはじめとした積極的な投資を行ってまいります。併せて原価率低減や販売管理費の効率化につとめてまいります。

(参考)

[個別業績予想]

- 通期の個別業績の見通しについても、昨年10月に発表した予想を次のとおり修正いたします。

	今回発表予想		前回発表予想		増減額 (A-B)	増減率
	(A)	前期比	(B)	前期比		
売上高	4,010億円	3.0%増	4,050億円	4.1%増	△40億円	△1.0%
営業利益	675億円	7.7%減	700億円	4.2%減	△25億円	△3.6%
経常利益	575億円	19.1%減	625億円	12.0%減	△50億円	△8.0%
当期純利益	360億円	21.7%減	465億円	1.1%増	△105億円	△22.6%

* 1株当たり予想当期純利益(通期) 126円36銭

(第4四半期の前提為替レート: 1米ドル90円、1ユーロ120円、1ポンド125円)

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。
- 当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、MGI PHARMA, INC.買収に関するリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に係るリスク。

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

5. その他

1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(1) 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法は、当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出においては、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(1) 会計処理基準に関する事項の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当社および国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これに伴う、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③ 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、のれんの償却をはじめとする連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は7,216百万円減少し、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ7,101百万円減少しております。また、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

なお、海外連結子会社ののれんについては、その発生原因により20年以内で均等償却しております。

(2) (1) 以外の変更

- ① 従来、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。

この変更は、主に次の3つの理由により当連結グループの会計処理の統一と期間損益の適正化をはかるために判断したものであります。1. 平成18年4月から開始した中期戦略計画により今後益々、有形固定資産に占める海外比率が高まる見通しであること、およびグローバルな事業展開の重要性が増すなかで国際財務報告基準や米国会計基準を勘案し、海外連結子会社と減価償却方法の整合性をはかること、2. 当連結グループの製品群からは長期的かつ安定的な収益の獲得が見込まれることから、定額償却の方が収益に対応した減価償却費の配分をより適正に反映できること、3. 当社および国内連結子会社の有形固定資産は、全般的に耐用年数内で安定的に稼働しており、設備等の営繕や維持も定期的、計画的に実施されるため、修繕維持費は今後も平準化の見込みであること。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は1,873百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,270百万円増加しております。

また、残存価額についても、有形固定資産の減価償却方法の変更を契機に当連結グループの会計処理方法を海外連結子会社が適用している方法に統一し、耐用年数で実質的残存価額（備忘価額1円）まで償却する方法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は1,507百万円増加し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,006百万円減少しております。

なお、上記の定額法への変更および残存価額の変更による影響額を合算すると、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は366百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ264百万円増加しております。また、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

- ② 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 平成19年3月30日改正）および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日改正）を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これに伴う、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(1) 重要なヘッジ会計の方法

第2四半期連結会計期間より、借入金の一部に対して金利スワップ契約を締結しております。金利スワップに関する当社のヘッジ会計の方法は、次のとおりであります。

① ヘッジ会計の方法

当社は、繰延ヘッジ処理を採用しております。

なお、金利スワップについて特例処理の要件を満たしている場合には特例処理を採用しております。

② ヘッジ手段とヘッジ対象

a. ヘッジ手段…金利スワップ

b. ヘッジ対象…借入金

③ ヘッジ方針

当社の借入金に係るヘッジ取引は、社内管理規程に基づき、通常の取引の範囲内において、将来の金利変動リスクの回避（キャッシュ・フローの固定）を目的として行っております。

④ ヘッジの有効性評価の方法

ヘッジ対象のキャッシュ・フロー変動の累計または相場変動とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計または相場変動を四半期ごとに比較し、両者の変動額等を基礎にして、ヘッジ有効性を評価しております。ただし、特例処理によっている金利スワップについては、有効性の評価を省略しております。

6. 四半期連結財務諸表
1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,004	68,593
受取手形及び売掛金	190,561	172,143
有価証券	87,051	56,287
商品及び製品	28,438	32,070
仕掛品	14,846	12,961
原材料及び貯蔵品	12,774	13,059
繰延税金資産	33,591	35,399
その他	16,325	25,361
貸倒引当金	△305	△308
流動資産合計	441,290	415,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	68,139	70,750
その他（純額）	81,148	76,332
有形固定資産合計	149,288	147,083
無形固定資産		
のれん	159,089	178,671
販売権	135,765	164,247
技術資産	53,536	61,346
その他	12,078	13,424
無形固定資産合計	360,469	417,690
投資その他の資産		
投資有価証券	66,934	89,544
繰延税金資産	65,520	43,650
その他	14,010	10,994
貸倒引当金	△462	△591
投資その他の資産合計	146,002	143,597
固定資産合計	655,760	708,370
資産合計	1,097,050	1,123,939

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,131	18,307
短期借入金	45,000	362,819
未払金	60,801	59,932
未払費用	48,498	56,738
未払法人税等	15,437	16,088
売上割戻引当金	27,698	23,324
その他の引当金	552	437
その他	11,215	5,542
流動負債合計	227,335	543,191
固定負債		
社債	120,591	830
長期借入金	273,721	50,000
繰延税金負債	32,278	40,249
退職給付引当金	22,452	24,104
役員退職慰労引当金	2,253	2,140
負ののれん	1,218	1,461
その他	17,341	8,170
固定負債合計	469,857	126,956
負債合計	697,192	670,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,985	44,985
資本剰余金	56,954	56,966
利益剰余金	414,797	415,961
自己株式	△39,690	△39,694
株主資本合計	477,047	478,219
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,400	9,509
繰延ヘッジ損益	△686	—
為替換算調整勘定	△84,716	△38,868
評価・換算差額等合計	△82,003	△29,359
新株予約権	594	556
少数株主持分	4,220	4,374
純資産合計	399,857	453,791
負債純資産合計	1,097,050	1,123,939

2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	598,695
売上原価	118,810
売上総利益	479,884
返品調整引当金繰入額	45
差引売上総利益	479,839
販売費及び一般管理費	※1 406,423
営業利益	73,416
営業外収益	
受取利息	2,725
受取配当金	953
負ののれん償却額	243
その他	238
営業外収益合計	4,160
営業外費用	
支払利息	5,554
社債発行費	348
為替差損	4,344
持分法による投資損失	74
その他	863
営業外費用合計	11,185
経常利益	66,391
特別利益	
固定資産売却益	14
投資有価証券売却益	432
子会社株式売却益	1,575
その他	28
特別利益合計	2,050
特別損失	
固定資産処分損	220
減損損失	905
投資有価証券評価損	6,093
その他	434
特別損失合計	7,653
税金等調整前四半期純利益	60,787
法人税、住民税及び事業税	38,703
法人税等調整額	△17,584
法人税等合計	21,119
少数株主利益	497
四半期純利益	39,171

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	199,866
売上原価	39,590
売上総利益	160,275
返品調整引当金繰入額	44
差引売上総利益	160,230
販売費及び一般管理費	※1 133,358
営業利益	26,871
営業外収益	
受取利息	922
受取配当金	387
負ののれん償却額	81
その他	47
営業外収益合計	1,438
営業外費用	
支払利息	2,108
為替差損	3,283
持分法による投資損失	20
その他	116
営業外費用合計	5,528
経常利益	22,781
特別利益	
固定資産売却益	4
その他	26
特別利益合計	31
特別損失	
固定資産処分損	77
減損損失	905
投資有価証券評価損	4,645
その他	3
特別損失合計	5,631
税金等調整前四半期純利益	17,180
法人税、住民税及び事業税	14,150
法人税等調整額	△7,604
法人税等合計	6,546
少数株主利益	175
四半期純利益	10,458

3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	60,787
減価償却費	36,785
のれん償却額	7,302
その他の損益 (△は益)	8,792
売上債権の増減額 (△は増加)	△27,608
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,470
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,835
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	14,598
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	7,351
その他	475
小計	107,849
利息及び配当金の受取額	3,515
利息の支払額	△4,518
法人税等の支払額	△35,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,965
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△27,428
無形固定資産の取得による支出	△4,039
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,390
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	6,572
その他	△10,554
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△317,539
長期借入れによる収入	231,530
社債の発行による収入	119,616
配当金の支払額	△38,462
その他	△1,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,694
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,357
現金及び現金同等物の期首残高	119,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	130,307

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5) セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	194,336	5,529	199,866	—	199,866
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	87	4,224	4,311	(4,311)	—
計	194,424	9,754	204,178	(4,311)	199,866
営業利益	27,728	529	28,257	(1,385)	26,871

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	582,786	15,908	598,695	—	598,695
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	217	13,605	13,823	(13,823)	—
計	583,004	29,514	612,518	(13,823)	598,695
営業利益	75,648	1,376	77,024	(3,608)	73,416

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

3 会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、医薬品分野において7,216百万円減少しております。

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、従来、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。これに伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、医薬品分野において1,178百万円、その他の分野において92百万円それぞれ増加しております。

また、残存価額について、耐用年数で実質的残存価額(備忘価額1円)まで償却する方法へ変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、医薬品分野において976百万円、その他の分野において30百万円それぞれ減少しております。

なお、上記の定額法への変更および残存価額の変更による影響額を合算すると、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、医薬品分野において201百万円、その他の分野において62百万円それぞれ増加しております。

(2) 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	92,191	89,813	11,576	2,562	3,721	199,866	—	199,866
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	24,264	14,060	6,847	10	100	45,282	(45,282)	—
計	116,456	103,873	18,423	2,573	3,822	245,149	(45,282)	199,866
営業利益	21,815	3,211	514	392	707	26,642	229	26,871

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	258,478	277,195	40,647	8,591	13,782	598,695	—	598,695
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	75,790	44,187	24,034	25	319	144,357	(144,357)	—
計	334,269	321,382	64,681	8,617	14,101	743,052	(144,357)	598,695
営業利益	60,925	6,878	2,675	1,729	3,126	75,336	(1,920)	73,416

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦および中国以外の区分に属する主な国または地域

- ① 北 米：米国、カナダ
- ② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等
- ③ アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等

3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

4 所在地区分の変更

当連結グループは、従来、所在地の区分を、日本、北米、欧州、アジア他としておりましたが、中国の重要性が増したことにより、中国事業担当執行役を任命するなどグループ管理体制を変更いたしました。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、アジア他に含めておりました中国を独立掲記いたしました。この結果、アジア他の売上高および営業利益が、中国の売上高および営業利益とそれぞれ同額減少しております。

5 会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、北米において7,183百万円減少しております。欧州、アジア他においての影響は軽微であります。

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、従来、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。これに伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本において1,270百万円増加しております。

また、残存価額について、耐用年数で実質的残存価額(備忘価額1円)まで償却する方法へ変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本において1,006百万円減少しております。

なお、上記の定額法への変更および残存価額の変更による影響額を合算すると、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本において264百万円増加しております。

(3) 海外売上高

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	91,852	13,048	2,562	4,950	112,413
II 連結売上高(百万円)					199,866
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	45.9	6.5	1.3	2.5	56.2

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	284,235	50,006	8,591	16,866	359,699
II 連結売上高(百万円)					598,695
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	47.5	8.4	1.4	2.8	60.1

- (注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 中国以外の区分に属する主な国または地域
 ① 北米：米国、カナダ
 ② 欧州：英国、フランス、ドイツ等
 ③ アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等
 3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。
 4 所在地区分の変更と同様の理由により、第1四半期連結会計期間より、アジア他に含めておりました中国を独立掲記いたしました。この結果、アジア他の海外売上高が、中国の海外売上高と同額減少しております。

6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

7) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。	
販売諸費	158,064 百万円
研究開発費	116,927 百万円
給与・賞与	50,183 百万円

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。	
販売諸費	52,604 百万円
研究開発費	38,878 百万円
給与・賞与	16,096 百万円

(参考資料)

前年同四半期に係る連結財務諸表

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
区 分	金 額 (百万円)	
I 売上高		559,553
II 売上原価		83,627
売上総利益		475,926
返品調整引当金繰入(△戻入)額		△95
差引売上総利益		476,021
III 販売費及び一般管理費		
1 研究開発費	99,568	
2 販売費・一般管理費	283,912	383,481
営業利益		92,540
IV 営業外収益		5,290
V 営業外費用		1,556
経常利益		96,275
VI 特別利益		2,266
VII 特別損失		1,479
税金等調整前四半期純利益		97,061
法人税、住民税及び事業税	37,751	
法人税等調整額	△4,737	33,013
少数株主利益		533
四半期純利益		63,514

(第3四半期連結会計期間)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)	
区 分	金 額 (百万円)	
I 売上高		196,736
II 売上原価		28,933
売上総利益		167,802
返品調整引当金繰入(△戻入)額		8
差引売上総利益		167,794
III 販売費及び一般管理費		
1 研究開発費	35,723	
2 販売費・一般管理費	96,590	132,314
営業利益		35,479
IV 営業外収益		1,942
V 営業外費用		707
経常利益		36,714
VI 特別利益		8
VII 特別損失		380
税金等調整前四半期純利益		36,341
法人税、住民税及び事業税	12,400	
法人税等調整額	△346	12,054
少数株主利益		124
四半期純利益		24,162

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区 分	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	97,061
2 減価償却費	23,373
3 減損損失	1
4 貸倒引当金の増減額(減少:△)	6
5 受取利息及び受取配当金	△5,005
6 支払利息	91
7 持分法による投資損益(利益:△)	12
8 固定資産除売却損益(利益:△)	340
9 有価証券・投資有価証券売却損益(利益:△)	△2,202
10 有価証券・投資有価証券評価損	242
11 売上債権の増減額(増加:△)	△18,026
12 たな卸資産の増減額(増加:△)	△3,067
13 仕入債務の増減額(減少:△)	△2,300
14 その他流動負債の増減額(減少:△)	9,275
15 売上割戻引当金の増減額(減少:△)	1,812
16 退職給付引当金の増減額(減少:△)	△4,794
17 その他	△1,545
小 計	95,276
18 利息及び配当金の受取額	4,774
19 利息の支払額	△98
20 法人税等の支払額	△48,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,852
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有価証券の取得による支出	△703
2 有価証券の売却・償還による収入	7,072
3 有形固定資産の取得による支出	△24,577
4 有形固定資産の売却による収入	97
5 無形固定資産の取得による支出	△11,186
6 投資有価証券の取得による支出	△1,812
7 投資有価証券の売却・償還による収入	9,727
8 買収による支出	△39,238
9 3カ月超預金の純増減額(増加:△)	△163
10 その他	△1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,821
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額(減少:△)	19,757
2 配当金の支払額	△36,938
3 少数株主への配当金の支払額	△60
4 その他	△222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,464
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,926
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△29,359
VI 現金及び現金同等物の期首残高	171,090
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	141,731

セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日）

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	190,959	5,776	196,736	—	196,736
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	66	5,141	5,207	(5,207)	—
計	191,025	10,918	201,943	(5,207)	196,736
営業費用	155,116	10,383	165,499	(4,242)	161,256
営業利益	35,909	534	36,443	(964)	35,479

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	542,408	17,145	559,553	—	559,553
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	161	14,356	14,517	(14,517)	—
計	542,569	31,502	574,071	(14,517)	559,553
営業費用	448,453	29,978	478,431	(11,418)	467,013
営業利益	94,116	1,523	95,639	(3,099)	92,540

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

(2) 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	89,138	86,046	14,346	7,204	196,736	—	196,736
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	26,132	13,266	7,472	39	46,910	(46,910)	—
計	115,270	99,313	21,819	7,243	243,646	(46,910)	196,736
営業費用	89,123	92,059	21,229	6,054	208,467	(47,210)	161,256
営業利益	26,146	7,253	590	1,189	35,179	299	35,479

前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	246,540	250,229	41,626	21,157	559,553	—	559,553
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	77,950	37,257	19,833	75	135,117	(135,117)	—
計	324,491	287,486	61,459	21,233	694,670	(135,117)	559,553
営業費用	252,500	270,513	59,981	16,929	599,924	(132,911)	467,013
営業利益	71,990	16,973	1,478	4,304	94,746	(2,205)	92,540

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国または地域
- ① 北 米：米国、カナダ
 - ② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等
 - ③ アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等
- 3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

(3) 海外売上高

前第3四半期連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

	北 米	欧 州	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	89,484	18,255	7,974	115,714
II 連結売上高(百万円)				196,736
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	45.5	9.3	4.0	58.8

前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	北 米	欧 州	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	258,958	55,207	23,750	337,916
II 連結売上高(百万円)				559,553
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	46.3	9.9	4.2	60.4

(注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

① 北 米：米国、カナダ

② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等

③ アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。

2008.12

参 考 資 料

平成21年3月期第3四半期決算

2009年1月30日



エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部・IR部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、MGI PHARMA, INC.買収に関するリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競争・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に係るリスク。

目次

	ページ
1. 連結財務ハイライト	1
2. 連結損益計算書	3
3. 連結キャッシュ・フロー計算書	4
4. セグメント情報	5
5. 連結貸借対照表	10
6. 連結四半期業績の推移	12
7. 個別情報	16
8. 主要開発品	20
9. 主なイベント	25

- * 昨年10月に発表した通期の業績予想を修正しております。修正箇所には下線を付しております。
- * 当資料中の数字は、四捨五入で表示しております。
- * 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりであります。
- * 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

為替レート

		米国 (円/US\$)	欧州 (円/€)	英国 (円/£)
2008年3月期 第3四半期累計	期中平均レート	117.28	162.82	236.51
	期末日レート	114.15	166.66	227.90
2008年3月期	期中平均レート	114.28	161.52	229.44
	期末日レート	100.19	158.19	200.11
2009年3月期 第3四半期累計	期中平均レート	102.84	150.70	187.25
	期末日レート	91.03	127.96	131.83
2009年3月期	第4四半期予想レート	90.00	120.00	125.00

【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方に基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失（投資有価証券評価損含む）という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

* キャッシュ・インカム

成長投資、事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、キャッシュ創出力を表わすもの（企業の成長性・戦略を検証する尺度）であると考えております。なお、当四半期より定義を一部変更しております。

算式：当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額
＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

* 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）

算式：キャッシュ・インカム÷発行済株式数（自己株式控除後）

* インプロセス研究開発費（IPR&D費）

特定の研究活動の目的で利用され、将来他の目的に使用できない資産であり、研究開発費として一括して計上される費用のことであります。

会計基準等の改正に伴い、本資料に記載している前年同期と比較した指標および金額は、「参考値」として表示しております。

1. 連結財務ハイライト

1) 損益計算書項目

	第3四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
	(億円)				
売上高	5,596	5,987	107.0	7,343	<u>7,800</u>
売上原価	835	1,189	142.3	1,188	<u>1,550</u>
研究開発費	996	1,169	117.4	2,254	<u>1,520</u>
販売費・一般管理費	2,839	2,895	102.0	3,723	<u>3,785</u>
営業利益	925	734	79.3	177	<u>945</u>
経常利益	963	664	69.0	189	<u>825</u>
四半期(当期)純利益(△損失)	635	392	61.7	△170	<u>460</u>
キャッシュ・インカム	877	900	102.7	1,069	1,140
			(前年同期差)		
1株当たり配当金(DPS/円)	—	—	—	130.0	140.0
1株当たり四半期(当期)純利益(△損失)(EPS/円)	223.4	137.5	△85.9	△59.8	<u>161.5</u>
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	308.3	315.9	7.6	375.8	400.1

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

*キャッシュ・インカムおよび1株当たりキャッシュ・インカムに関しては定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。

<補足資料>

※損益計算書項目(実業ベース)

	第3四半期累計実績				通期予想		
	(GAAPベース)		(実業ベース)		(GAAPベース)		(実業ベース)
	2009年 3月期	企業結合 会計処理	2009年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期(予)	企業結合 会計処理	2009年 3月期(予)
売上高	5,987		5,987	107.0	<u>7,800</u>		<u>7,800</u>
売上原価	1,189	144	1,044	125.0	<u>1,550</u>	182	<u>1,368</u>
研究開発費	1,169	6	1,163	116.8	<u>1,520</u>	8	<u>1,512</u>
販売費・一般管理費	2,895	70	2,825	99.5	<u>3,785</u>	90	<u>3,695</u>
営業利益	734	(221)	955	103.2	<u>945</u>	(280)	1,225
経常利益	664	(221)	885	91.9	<u>825</u>	(280)	<u>1,105</u>
四半期(当期)純利益	392	(167)	559	88.0	<u>460</u>	(210)	<u>670</u>
				(前年同期差)			
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	137.5		196.2	△27.1	<u>161.5</u>		<u>235.2</u>

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

※実業ベース：企業活動の実態を見るため、GAAPベース(現行の会計基準ベース)から前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理(非キャッシュ項目)を除き算出しております。

[企業結合会計処理の内容]

売上原価：販売権償却費、たな卸資産評価アップ分

研究開発費：技術資産償却費

販売費・一般管理費：のれん償却額

2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第3四半期累計			(億円)	
			増減額	通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期		2008年 3月期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	519	710	191		732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△618	△368	250		△4,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175	△61	114		3,754
現金及び現金同等物の期末残高	1,417	1,303	△114		1,200
フリー・キャッシュ・フロー	△231	395	626		△4,159

*フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（買収などを含む））

3) 貸借対照表項目

	2008年			(億円)	
			増減額		
	3月末	12月末			
総資産	11,239	10,971			△269
負債	6,701	6,972			270
社債	10	1,206			1,196
借入金	4,128	3,187			△941
純資産	4,538	3,999			△539
自己資本	4,489	3,950			△538
自己資本比率（％）	39.9	36.0			△3.9

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

	第3四半期累計			通期		(億円)	
			増減額				
	2008年 3月期	2009年 3月期		2008年 3月期	2009年 3月期(予)		
資本的支出額	926	279	△648	4,340			410
有形固定資産	226	240	14	398			330
無形固定資産	701	39	△662	3,943			80
減価償却費	234	368	134	346			485

*資本的支出額にはモルフォテック社ならびにMGI PHARMA, INC.買収による資産の増加を含めて表示しております。

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

2. 連結損益計算書

	(億円)						備考
	第3四半期累計						
	2008年 3月期	売上比 %	2009年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額	
売上高	5,596	100.0	5,987	100.0	107.0	391	■売上高 <増加要因> ・アリセプトの伸長、 Aloxi、Dacogenの貢献 <減少要因> ・為替レートの変動
売上原価	836	14.9	1,188	19.8	142.1	352	
返品調整引当金繰入(△戻入)額	△1	△0.0	0	0.0		1	
売上総利益	4,760	85.1	4,798	80.1	100.8	38	
研究開発費	996	17.8	1,169	19.5	117.4	174	■研究開発費 <増加要因> ・臨床研究テーマの進捗
販売費・一般管理費	2,839	50.7	2,895	48.4	102.0	56	
営業利益	925	16.5	734	12.3	79.3	△191	
営業外収益	53	1.0	42	0.7		△11	
受取利息及び配当金	50		37			△13	
その他	3		5			2	
営業外費用	16	0.3	112	1.9		96	
支払利息	1		56			55	■支払利息 <増加要因> ・資金調達に伴う増加
為替差損	10		43			34	
その他	5		13			8	
経常利益	963	17.2	664	11.1	69.0	△299	
特別利益	23	0.4	21	0.3		△2	
株式売却益	22		20			△2	
その他	1		0			△0	
特別損失	15	0.3	77	1.3		62	
投資有価証券評価損	2		61			59	■投資有価証券評価損 <増加要因> ・保有株式の時価下落
その他	12		16			3	
税金等調整前四半期純利益	971	17.3	608	10.2	62.6	△363	
法人税、住民税及び事業税	378	6.7	387	6.5	102.5	10	
法人税等調整額	△47	△0.8	△176	△2.9		△128	
少数株主利益	5	0.0	5	0.1		△0	
四半期純利益	635	11.4	392	6.5	61.7	△243	

<キャッシュ創出力>

四半期純利益	635	11.4	392	6.5	61.7	△243
有形・無形固定資産減価償却費	211		209			△2
買収に伴う無形固定資産減価償却費	22		159			137
インプロセス研究開発費	6		—			△6
のれん償却額	0		71			70
減損損失(投資有価証券評価損含む)	2		70			68
キャッシュ・インカム	877	15.7	900	15.0	102.7	23

*定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	(億円)			備考
	第3四半期累計			
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	
税金等調整前四半期純利益	971	608	△363	
減価償却費	234	368	134	
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	△234	△282	△48	
未払金・未払費用等の増減額	93	146	53	
その他	△110	239	350	■その他 ＜増加要因＞ ・のれん償却額の計上 ・投資有価証券評価損の計上
（小計）	953	1,078	126	
利息等の受取及び支払額	47	△10	△57	
法人税等の支払額	△481	△359	122	
営業活動によるキャッシュ・フロー	519	710	191	
資本的支出等（買収などを含む）	△749	△314	435	■資本的支出等（買収などを含む） ＜支出減少要因＞ ・前年の企業買収による影響
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	143	52	△91	
その他	△12	△106	△94	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△618	△368	250	
短期借入金の純増減額	198	△3,175	△3,373	■短期借入金の純増減額 ■長期借入れによる収入 ■社債の発行による収入 ＜増減要因＞ ・買収資金 （短期から長期へシフト）
長期借入れによる収入	-	2,315	2,315	
社債の発行による収入	-	1,196	1,196	
配当金の支払額	△369	△385	△15	
その他	△3	△12	△9	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175	△61	114	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△177	△158	
現金及び現金同等物の増減額	△294	104	397	
現金及び現金同等物の期首残高	1,711	1,200	△511	
現金及び現金同等物の期末残高	1,417	1,303	△114	
フリー・キャッシュ・フロー	△231	395	626	

*フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（買収などを含む））

4. セグメント情報

1) 事業の種類別/所在地別売上高

	第3四半期累計		(億円)
			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
売上高	5,596	5,987	7,343
医薬品分野	5,424	5,828	7,118
日本	2,311	2,450	2,927
北米	2,494	2,758	3,382
欧州	408	397	532
中国	71	86	95
アジア他	141	138	183
その他の分野	171	159	224
日本	155	135	200
海外	17	24	24

*外部顧客に対する売上高であります。

*日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

①北米：米国、カナダ

②欧州：英国、フランス、ドイツ等

③アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等

2) 事業の種類別営業利益

	第3四半期累計		(億円)
			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
営業利益	925	734	177
医薬品分野	941	756	198
その他の分野	15	14	19
消去又は全社	△31	△36	△40

*前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除いて算出した「実業ベース」での医薬品分野の2009年3月期第3四半期累計の営業利益は977億円であります。

3) 所在地別セグメント情報

(1) 所在地別売上高

	第3四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
売上高	5,596	5,987	7,343
日本	2,465	2,585	3,127
北米	2,502	2,772	3,394
欧州	416	406	544
中国	71	86	95
アジア他	141	138	183
海外計	3,130	3,402	4,216
海外比率 (%)	55.9	56.8	57.4

*外部顧客に対する売上高であります。

(2) 所在地別営業利益

	第3四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
営業利益	925	734	177
日本	720	609	805
北米	170	69	△669
欧州	15	27	18
中国	14	17	20
アジア他	29	31	37
消去又は全社	△22	△19	△33

*前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除いて算出した「実業ベース」での北米の2009年3月期第3四半期累計の営業利益は290億円であります。

4) 海外売上高

	第3四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
売上高	5,596	5,987	7,343
海外売上高	3,379	3,597	4,546
北米	2,590	2,842	3,504
欧州	552	500	731
中国	71	86	95
アジア他	167	169	215
海外売上高比率 (%)	60.4	60.1	61.9

*日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等

5) 連結主力製品売上高 (自社)

(1) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

		第3四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
日本	億円	490	610	623
米国	億円 (百万US\$)	1,375 (1,173)	1,391 (1,353)	1,869 (1,635)
欧州	億円	263	230	333
英国	億円 (百万£)	10 (4)	25 (14)	14 (6)
フランス	億円 (百万€)	195 (120)	139 (92)	243 (151)
ドイツ	億円 (百万€)	58 (36)	65 (43)	76 (47)
中国	億円 (百万元)	7 (42)	7 (46)	12 (75)
アジア (日本・中国除く)	億円	56	52	74
総計	億円	2,191	2,290	2,910

*2009年3月期の売上高の総計は3,030億円を見込んでおります。

(2) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤)

		第3四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
日本	億円	295	350	371
米国	億円 (百万US\$)	995 (848)	765 (744)	1,247 (1,091)
欧州	億円	66	75	86
英国	億円 (百万£)	18 (8)	18 (10)	22 (9)
ドイツ	億円 (百万€)	13 (8)	18 (12)	18 (11)
イタリア	億円 (百万€)	34 (21)	33 (22)	45 (28)
中国	億円 (百万元)	5 (33)	5 (35)	7 (43)
アジア (日本・中国除く)	億円	39	36	48
総計	億円	1,399	1,232	1,759

*2009年3月期の売上高の総計は1,570億円を見込んでおります。

*中国 (元) 為替レートは次のとおりであります。

2007年4月~12月	期中平均レート	15.51円/元
2008年4月~12月	期中平均レート	14.95円/元
2007年4月~2008年3月	期中平均レート	15.30円/元

(3) メチコバル (末梢性神経障害治療剤)

		第3四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
日本	億円	253	247	317
アジア (中国含む)	億円	54	66	71
総計	億円	307	313	387

(4) Aloxi (制吐剤)

		第3四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	280 (272)	65 (62)

(5) Dacogen (DNAメチル化阻害剤)

		第3四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	126 (122)	27 (26)

(6) ソネグラン (てんかん治療剤)

		第3四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	18 (16)	16 (16)	22 (19)
欧州	億円	25	29	32
アジア	億円	1	2	2
総計	億円	44	47	56

6) 人件費、販売費、管理費他

	第3四半期累計		(億円)
			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
売上高	5,596	5,987	7,343
販売費・一般管理費	2,839	2,895	3,723
人件費	560	624	771
販売費	1,872	1,810	2,419
管理費他	407	461	533
売上高比率 (%)	50.7	48.4	50.7

7) Eisai Inc. (米国)

		第3四半期累計		通期
				2008年 3月期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
売上高	億円 (百万US\$)	2,528 (2,156)	2,634 (2,561)	3,327 (2,911)
うち旧MGI分	(百万US\$)	(-)	(290)	(-)
営業利益	億円 (百万US\$)	181 (154)	195 (189)	252 (221)
四半期(当期)純利益	億円 (百万US\$)	125 (107)	134 (130)	171 (149)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	651 (555)	638 (620)	877 (767)

*2008年7月よりMGI PHARMA, INC.の販売機能がEisai Inc.に統合されました。

5. 連結貸借対照表

1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 12月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動資産	4,156	37.0	4,413	40.2	106.2	257	
現金及び預金	686		580			△106	
受取手形及び売掛金	1,721		1,906			184	
有価証券	563		871			308	
たな卸資産	581		561			△20	
繰延税金資産	354		336			△18	
その他	254		163			△90	
貸倒引当金	△3		△3			0	
固定資産	7,084	63.0	6,558	59.8	92.6	△526	
有形固定資産	1,471	13.1	1,493	13.6	101.5	22	
建物及び構築物	708		681			△26	
機械装置及び運搬具	231		204			△27	
土地	208		196			△13	
建設仮勘定	198		282			84	
その他	126		129			3	
無形固定資産	4,177	37.1	3,605	32.9	86.3	△572	■無形固定資産 <減少要因> ・為替レートの変動 ・減価償却
のれん	1,787		1,591			△196	
販売権	1,642		1,358			△285	
技術資産	613		535			△78	
その他	134		121			△13	
投資その他の資産	1,436	12.8	1,460	13.3	101.7	24	
投資有価証券	895		669			△226	■投資有価証券 <減少要因> ・保有株式の時価下落
繰延税金資産	437		655			219	
その他	110		140			30	
貸倒引当金	△6		△5			1	
資産合計	11,239	100.0	10,971	100.0	97.6	△269	

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 12月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動負債	5,432	48.3	2,273	20.7	41.9	△3,159	
支払手形及び買掛金	183		181			△2	
短期借入金	3,628		450			△3,178	■短期借入金 <減少要因> ・社債・長期借入金ヘシフト
未払金・未払費用	1,167		1,093			△74	
未払法人税等	161		154			△7	
売上割戻引当金	233		277			44	
その他	60		118			58	
固定負債	1,270	11.3	4,699	42.8	370.1	3,429	
社債	8		1,206			1,198	■社債 <増加要因> ・無担保普通社債の発行
長期借入金	500		2,737			2,237	■長期借入金 <増加要因> ・買収に伴う資金調達
繰延税金負債	402		323			△80	
退職給付引当金	241		225			△17	
役員退職慰労引当金	21		23			1	
その他	96		186			89	
負債合計	6,701	59.6	6,972	63.6	104.0	270	
株主資本	4,782	42.5	4,770	43.5	99.8	△12	
資本金	450		450			—	
資本剰余金	570		570			△0	
利益剰余金	4,160		4,148			△12	
自己株式	△397		△397			0	
評価・換算差額等	△294	△2.6	△820	△7.5	—	△526	
その他有価証券評価差額金	95		34			△61	
繰延ヘッジ損益	—		△7			△7	
為替換算調整勘定	△389		△847			△458	■為替換算調整勘定 <減少要因> ・海外子会社のB/S換算 レートの変動 (US\$: 100.19円→91.03円)
新株予約権	6	0.1	6	0.1	106.8	0	
少数株主持分	44	0.4	42	0.4	96.5	△2	
純資産合計	4,538	40.4	3,999	36.4	88.1	△539	
負債純資産合計	11,239	100.0	10,971	100.0	97.6	△269	

6. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2008年3月期				2009年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
売上高	1,760	1,868	1,967	1,747	1,958	2,030	1,999
売上原価	275	271	289	353	394	399	396
研究開発費	305	333	357	1,259	357	423	389
販売費・一般管理費	918	955	966	884	967	984	945
営業利益(△損失)	262	309	355	△748	241	225	269
営業外損益	22	3	12	△26	△2	△27	△41
経常利益(△損失)	284	312	367	△774	239	197	228
特別損益	22	△10	△4	△20	13	△13	△56
税金等調整前四半期純利益(△損失)	306	302	363	△794	252	184	172
四半期純利益(△損失)	193	200	242	△805	166	121	105
キャッシュ・インカム	273	281	323	192	318	279	303
1株当たり四半期(当期)純利益(△損失)(EPS/円)	68.1	70.4	84.9	△283.2	58.4	42.4	36.7
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	96.0	98.8	113.5	67.5	111.8	97.9	106.2

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

*キャッシュ・インカムおよび1株当たりキャッシュ・インカムに関しては定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2008年3月期				2009年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	339	101	214	186	508	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460	△67	△92	△4,146	△77	△93	△198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187	△1	13	3,928	△200	△55	195
現金及び現金同等物の期末残高	1,196	1,410	1,417	1,200	1,130	1,421	1,303
フリー・キャッシュ・フロー	△461	248	△17	△3,928	63	400	△67

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

<資産の部>

(億円)

	2008年3月期				2009年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
流動資産	3,960	4,209	4,309	4,156	4,334	4,442	4,413
固定資産	3,897	3,968	4,024	7,084	7,319	7,123	6,558
有形固定資産	1,353	1,375	1,414	1,471	1,550	1,576	1,493
無形固定資産	1,040	1,216	1,204	4,177	4,303	4,108	3,605
投資その他の資産	1,504	1,377	1,406	1,436	1,466	1,440	1,460
資産合計	7,857	8,176	8,333	11,239	11,653	11,565	10,971

<負債及び純資産の部>

(億円)

	2008年3月期				2009年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
負債	2,172	2,425	2,568	6,701	6,915	6,916	6,972
流動負債	1,806	1,918	2,057	5,432	3,671	2,099	2,273
固定負債	367	508	511	1,270	3,244	4,818	4,699
純資産	5,685	5,751	5,765	4,538	4,739	4,649	3,999
株主資本	5,280	5,489	5,587	4,782	4,745	4,866	4,770
評価・換算差額等	300	154	128	△294	△54	△266	△820
新株予約権	3	6	6	6	6	6	6
少数株主持分	102	103	45	44	43	43	42
負債純資産合計	7,857	8,176	8,333	11,239	11,653	11,565	10,971

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2008年3月期				2009年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
資本的支出額	462	353	111	3,414	85	123	71
有形固定資産	39	97	89	172	75	103	62
無形固定資産	423	256	22	3,242	10	20	9
減価償却費	73	81	80	112	123	126	119

*資本的支出額にはMorphotek, Inc.ならびにMGI PHARMA, INC.買収による資産の増加を含めて表示しております。

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) アリセプト売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
日本	億円	149	151	189	133	194	188	227
米国	億円 (百万US\$)	415 (343)	480 (407)	480 (423)	494 (463)	434 (415)	499 (464)	458 (474)
欧州	億円	92	81	90	69	80	87	63
英国	億円 (百万£)	3 (1)	3 (1)	4 (2)	3 (2)	7 (4)	13 (6)	5 (4)
フランス	億円 (百万€)	70 (43)	59 (36)	66 (40)	48 (31)	51 (31)	50 (31)	38 (30)
ドイツ	億円 (百万€)	19 (12)	19 (12)	20 (12)	18 (11)	21 (13)	24 (15)	20 (15)
中国	億円 (百万元)	0 (3)	3 (22)	3 (17)	5 (33)	1 (9)	3 (20)	2 (18)
アジア (日本・中国除く)	億円	17	19	20	18	20	20	12
総計	億円	673	735	782	719	729	796	764

6) パリエット/アシフェックス売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
日本	億円	89	93	112	76	110	106	134
米国	億円 (百万US\$)	318 (263)	346 (293)	331 (292)	252 (243)	259 (248)	270 (251)	236 (245)
欧州	億円	25	21	19	20	25	26	25
英国	億円 (百万£)	8 (3)	7 (3)	4 (2)	4 (2)	6 (3)	7 (3)	4 (3)
ドイツ	億円 (百万€)	5 (3)	3 (2)	4 (2)	5 (3)	6 (4)	7 (4)	5 (4)
イタリア	億円 (百万€)	12 (7)	11 (7)	11 (7)	12 (7)	12 (7)	12 (7)	10 (8)
中国	億円 (百万元)	2 (14)	2 (10)	1 (9)	1 (10)	1 (9)	2 (13)	2 (13)
アジア (日本・中国除く)	億円	14	12	13	10	13	13	10
総計	億円	449	473	477	360	408	417	406

7) メチコバル売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
日本	億円	82	80	91	64	83	77	87
アジア (中国含む)	億円	18	18	17	17	24	24	18
総計	億円	101	98	108	81	107	101	105

8) Aloxi 売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	— (—)	— (—)	65 (62)	95 (90)	95 (88)	91 (94)

9) Dacogen 売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	— (—)	— (—)	27 (26)	44 (42)	43 (40)	39 (41)

10) ソネグラン売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
米国	億円 (百万US\$)	7 (6)	7 (6)	4 (4)	4 (4)	5 (4)	6 (5)	6 (6)
欧州	億円	7	8	9	8	10	10	9
アジア	億円	0	0	0	1	1	1	0
総計	億円	15	16	14	12	15	16	15

11) Eisai Inc. (米国)

		2008年3月期				2009年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
売上高	億円 (百万US\$)	778 (644)	883 (748)	867 (764)	799 (756)	748 (716)	980 (913)	906 (932)
うちIBMGI分	(百万US\$)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(142)	(148)
営業利益	億円 (百万US\$)	36 (29)	71 (60)	74 (65)	71 (66)	40 (39)	81 (75)	74 (76)
四半期純利益	億円 (百万US\$)	26 (22)	49 (41)	50 (44)	46 (43)	26 (25)	52 (48)	56 (57)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	180 (149)	235 (199)	236 (207)	226 (212)	181 (174)	239 (222)	218 (225)

*2008年7月よりMGI PHARMA, INC.の販売機能がEisai Inc.に統合されました。

7. 個別情報

1) 個別財務ハイライト

(1) 損益計算書項目

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
売上高	3,028	3,133	103.5	3,892	<u>4,010</u>
売上原価	596	633	106.1	760	<u>800</u>
研究開発費	965	1,080	111.9	1,340	<u>1,400</u>
販売費・一般管理費	804	874	108.7	1,061	<u>1,135</u>
営業利益	662	546	82.5	731	<u>675</u>
経常利益	666	487	73.2	710	<u>575</u>
四半期(当期)純利益	443	335	75.7	460	<u>360</u>

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

(2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	第3四半期累計			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	159	185	27	367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208	500	708	△4,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170	△777	△607	3,758
現金及び現金同等物の期末残高	246	185	△61	277
フリー・キャッシュ・フロー	△33	64	96	96

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

(3) 貸借対照表項目

(億円)

	2008年		増減額
	3月末	12月末	
総資産	9,773	9,262	△510
負債	5,059	4,671	△388
純資産	4,714	4,591	△122
自己資本	4,708	4,585	△116
自己資本比率(%)	48.2	49.6	1.4

(4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
資本的支出額	154	94	△60	249	<u>150</u>
有形固定資産	73	69	△3	152	<u>100</u>
無形固定資産	81	25	△56	97	50
減価償却費	130	132	1	178	<u>175</u>

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

2) 売上高の状況

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
売上高	3,028	3,133	103.5	3,892	4,010
医療用医薬品	1,849	2,040	110.3	2,318	<u>2,585</u>
医薬品輸出	446	399	89.6	607	<u>510</u>
一般用医薬品等	154	147	95.3	201	<u>190</u>
その他の分野（食品添加物、化学品）	10	12	115.0	14	15
工業所有権等収益	568	535	94.1	753	<u>710</u>

3) 地域別輸出状況

(億円)

	第3四半期累計			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期
売上高	3,028	3,133	103.5	3,892
輸出高	1,011	930	92.0	1,356
北米	732	678	92.5	980
欧州	226	185	81.8	297
アジア他（中国含む）	53	68	127.7	79
売上高比率（%）	33.4	29.7	—	34.8

*地域区分は次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

*輸出高には工業所有権等収益を含めて表示しております。

4) 医療用医薬品主力製品売上高

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	490	610	124.5	623	780
プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤 パリエット	295	350	118.7	371	435
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	253	247	97.7	317	310
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	146	127	86.8	182	160
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	69	70	102.0	82	90
筋緊張改善剤 ミオナール	64	61	94.8	80	75
非イオン性造影剤 イオメロン	64	57	88.7	79	75
骨粗鬆症治療用ビタミンK ₂ 剤 グラケー	53	44	82.4	64	55
消化管検査前処置・低血糖治療剤 グルカゴンG・ノボ	32	30	94.9	39	35
虚血性心疾患治療剤 ニトロールR	27	24	87.8	34	30
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	—	12	—	—	20
その他	355	408	114.8	447	520
医療用医薬品計	1,849	2,040	110.3	2,318	2,585

5) 医薬品輸出高

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
アリセプト	208	198	95.2	281	245
パリエット/アシフェックス	184	135	73.3	251	180
その他	53	66	123.9	75	85
医薬品輸出計	446	399	89.6	607	510

6) 一般用医薬品等主力製品グループ売上高

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	74	78	104.9	95	100
メコバラミン主剤「ナボリンEB錠」等 ナボリングroup	17	17	97.3	23	20
天然ビタミンE剤「ユベラックス α 2」等 ビタミンEグループ	13	12	91.8	17	15
緑の胃ぐすり「サクロン」等 サクロングループ	12	11	89.8	16	15
その他	37	29	78.3	51	40
一般用医薬品等計	154	147	95.3	201	190

7) 貸借対照表項目

<資産の部>

	2008年		
	3月末	12月末	増減額
流動資産	3,061	2,431	△630
固定資産	6,711	6,831	120
有形固定資産	834	834	△0
無形固定資産	335	314	△21
投資その他の資産	5,543	5,684	141
資産合計	9,773	9,262	△510

<負債及び純資産の部>

	2008年		
	3月末	12月末	増減額
負債合計	5,059	4,671	△388
流動負債	4,343	1,150	△3,193
固定負債	716	3,521	2,806
純資産	4,714	4,591	△122
株主資本	4,612	4,563	△50
評価・換算差額等	96	23	△73
新株予約権	6	6	0
負債純資産合計	9,773	9,262	△510

8. 主要開発品

1) 開発ステージ別一覧

(1) 承認取得品

製品名、 開発品コード	薬効/作用	地域	承認時期	剤形
ヒュミラ (D2E7)	関節リウマチ治療剤/ヒト型抗ヒトTNFモノクローナル抗体	日本	2008年4月	注射
イオメロン (E7337)	【用法・用量、剤形追加】肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影に関する用法・用量、剤形の追加	日本	2008年5月	注射
アシフェックス (E3810)	【適応追加】青年期胃食道逆流症における短期治療の効能・効果追加	米国	2008年6月	経口
Aloxi (E3270)	【剤形追加】がん化学療法に伴う急性悪心・嘔吐予防での経口剤の剤形追加	米国	2008年8月	経口
ガスモチン	消化管運動機能改善剤 (一般名:モサプリド)	タイ	2008年9月	経口
アリセプト (E2020)	【剤形追加】液剤の剤形追加	英国	2008年10月	経口
Banzel (E2080)	てんかん治療剤 /レノックス・ガストー症候群に伴うてんかん発作の併用療法 (一般名:ルフィナマイド)	米国	2008年11月	経口
Lusedra (E2083)	鎮静剤/成人の検査もしくは処置における鎮静 (一般名:fospropofol)	米国	2008年12月	注射

(2) 申請中・申請準備中開発品

製品名、 開発品コード	薬効/作用	地域	申請(予定)時期	剤形
アリセプト (E2020)	【適応追加】脳血管性認知症の効能・効果追加	米国 (欧州)	2002年11月 申請準備中)	経口
T-614	関節リウマチ治療剤 (一般名:イグラチモド)	日本	2003年9月	経口
E2014	瘧疾斜頸治療剤 (一般名:B型ボツリヌス毒素)	日本	2006年12月	注射
ガスモチン	消化管運動機能改善剤 (一般名:モサプリド)	アジア ¹⁾	2007年5月	経口
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名:クレブジン)	アジア ¹⁾	2007年5月	経口
KES524	肥満症治療剤/脳内セロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害 (一般名:シブトラミン)	日本	2007年11月	経口
アリセプト (E2020)	【剤形追加】ゼリー製剤の剤形追加	日本	2008年3月	経口
グルファスト	速効型インスリン分泌促進剤 (一般名:ミチグリニド)	アジア ¹⁾	2008年3月	経口
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】乾癬の効能・効果追加	日本	2008年5月 ²⁾	注射
Dacogen (E7373)	【用法・用量追加】骨髄異形成症候群(MDS)5日間投与の用法・ 用量追加	米国	2008年度 (申請予定)	注射
バリエット (E3810)	【適応追加】非びらん性胃食道逆流症の効能・効果追加	日本	2008年度 (再申請予定)	経口

: 2008年10月以降の進捗

- 1) アジア地域の申請中、申請準備中の対象国は「2) 領域別一覧」(P23~P24)に記載しております。
2) ヒュミラは、関節リウマチ治療剤として承認されたことにより、本剤の乾癬にかかる申請区分が新薬申請から適応追加申請へと変更となったため、申請資料をさしかえた結果、申請時期が変更されております。

(3) 臨床試験中開発品 (フェーズ ~ /)

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
E5564	敗血症治療剤 / エンドトキシン拮抗剤 (一般名: エリトラン)	米国 欧州 日本		2009年度	注射
E7389	抗がん剤 (乳がん) / 微小管伸長阻害剤 (一般名: エリプリン)	米国 欧州 日本		2009年度	注射
AS-3201	糖尿病合併症治療剤 / アルドース還元酵素阻害剤 (一般名: ラニレスタット)	米国		2012年度	経口
アリセプト (E2020)	【剤形追加】徐放製剤の用法・用量、剤形追加	米国 欧州		2009年度	経口
アリセプト (E2020)	【小児有用性】がん化学療法に伴う認知機能障害	米国		2009年度	経口
アリセプト (E2020)	【小児有用性】ダウン症候群	米国		2009年度	経口
アシフェックス (E3810)	【剤形追加】長時間作用型製剤の剤形追加	米国		2009年度	経口
Saforis (E6014)	口腔粘膜炎治療剤 / ゲルタミン懸濁液	米国			外用
ソネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん単剤療法の効能・効果追加	欧州		2010年度	経口
ソネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん小児適応の効能・効果追加	欧州		2009年度	経口
Dacogen (E7373)	【適応追加】骨髄異形成症候群 (MDS) 延命効果の効能・ 効果追加	米国			注射
Dacogen (E7373)	【適応追加】急性骨髄性白血病 (AML) の効能・効果追加	米国		2010年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】若年性関節リウマチの効能・効果追加	日本		2011年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】強直性脊椎炎の効能・効果追加	日本		2009年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】関節の構造的損傷の防止	日本			注射
E2007	てんかん治療剤 / AMPA受容体拮抗剤 (一般名: ベランパネル)	米国 欧州 日本		2012年度	経口
SEP-190	不眠症治療剤 / GABA-A受容体作動剤 (一般名: エスゾピクロン)	日本		2010年度	経口
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名: クレブジン)	中国	準備中		経口
E0302	筋萎縮性側索硬化症 (ALS) (一般名: メコバラミン)	日本	/		注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】クローン病の効能・効果追加	日本	/	2009年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】潰瘍性大腸炎	日本	/		注射
amolimogene (E7101)	子宮頸部異形成治療剤 / 治療用DNAワクチン	米国	/	2011年度	注射
パリエット (E3810)	【用法・用量追加】逆流性食道炎の用法・用量追加	日本	/		経口

: 2008年10月以降の進捗

(4) 臨床試験中開発品 (フェーズ)

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
E2007	神経因性疼痛治療剤 / AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国 欧州			経口
E2007	多発性硬化症治療剤 / AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	欧州			経口
E2007	片頭痛予防 / AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国			経口
E5555	急性冠症候群治療剤 / トロンピン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本		2012年度	経口
E5555	アテローム血栓症治療剤 / トロンピン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本			経口
E6201	乾癬治療剤 / 新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤	米国			外用
E7080	抗がん剤 (甲状腺がん) / VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤	米国			経口
E7389	抗がん剤 (非小細胞肺癌) / 微小管伸長阻害剤 (一般名:エリブリン)	米国			注射
E7389	抗がん剤 (前立腺がん) / 微小管伸長阻害剤 (一般名:エリブリン)	米国 欧州			注射
E7389	抗がん剤 (肉腫) / 微小管伸長阻害剤 (一般名:エリブリン)	欧州			注射
E7820	抗がん剤 (大腸がん) / 2インテグリン発現抑制剤	米国			経口
AKR-501	血小板減少症治療剤 / トロンボポエチン受容体作動剤	米国			経口
MORAb-003	抗がん剤 (卵巣がん) / モノクローナル抗体 (一般名:farletuzumab)	米国			注射
MORAb-009	抗がん剤 (膵臓がん) / モノクローナル抗体	米国			注射
アリセプト (E2020)	【適応追加】レビー小体型認知症の効能・効果追加	日本			経口
irofulven (E7850)	抗がん剤 (前立腺がん等) / DNA合成阻害剤	米国			注射
E7210 (一時開発中断中)	超音波造影剤	日本			注射

2) 領域別一覧

(1) 神経

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
アリセプト (E2020)	アセチルコリンエステラーゼ阻害作用に基づき、すでにアルツハイマー型認知症治療剤として承認を取得しています。	【適応追加等】 脳血管性認知症 米：申請中 小児有用性 米：フェーズ レビー小体 日：フェーズ 【剤形追加】 液剤 英国：承認 ゼリー剤 日：申請中 徐放製剤 欧米：フェーズ
E2007	一般名はペランパネルで、グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害し、各種神経疾患への可能性を有しています。	てんかん 欧米：フェーズ 日：フェーズ 神経因性疼痛 欧米：フェーズ 片頭痛予防 米：フェーズ 多発性硬化症 欧：フェーズ
AS-3201	一般名はラニレスタットで、強力なアルドース還元酵素阻害作用に基づき、糖尿病合併症治療剤をめざしています。	糖尿病性神経障害 米：フェーズ
Banzel (E2080)	レノックス・ガストー症候群の併用療法として、欧州では「Inovelon」のブランド名で承認を取得しています。米国で「Banzel」のブランド名で承認を取得しました。	レノックス・ガストー症候群の併用療法 米：承認
ソネグラン (E2090)	一般名はゾニサミドで、幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。すでに成人部分でてんかんを対象に併用療法の適応を取得しております。	【適応追加】 単剤療法 欧：フェーズ 小児適応 欧：フェーズ
E0302	日本で末梢性神経障害治療剤として広く使われているメコバラミンについて、新たに筋萎縮性側索硬化症を対象としたフェーズ / が進行中です。	筋萎縮性側索硬化症 日：フェーズ /
E2014	ボツリヌス毒素が神経筋接合部でコリン作動性神経終末に作用し、アセチルコリンの遊離を阻害することで筋を弛緩させます。	痙性斜頸 日：申請中
SEP-190	非ベンゾジアゼピン系に属するGABA-A受容体作動剤で、一過性不眠、短期不眠や高齢者の不眠に効果を期待しております。	不眠症 日：フェーズ

(2) がん、支持療法

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
E7389	一般名はエリプリンで、カイメン由来のハリコンドリンBを基にした全合成誘導体です。微小管の伸長を阻害し細胞分裂を抑制することにより抗腫瘍活性を示します。乳がんでのPOCに成功しました。	乳がん 欧米：フェーズ 日：フェーズ 非小細胞肺がん 米：フェーズ 前立腺がん 欧米：フェーズ 肉腫 欧：フェーズ
E7820	2インテグリン発現抑制作用を有する血管新生阻害剤です。	大腸がん 米：フェーズ
E7080	VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤です。	甲状腺がん 米：フェーズ
MORAb-003	葉酸受容体 に対するヒト化IgG1抗体です。	卵巣がん 米：フェーズ
MORAb-009	メソセリンに対するIgG1抗体です。	膵臓がん 米：フェーズ
Dacogen (E7373)	一般名はデシタピンで、DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有し、すでに米国で骨髄異形成症候群(MDS)で適応を取得しています。	【適応追加】 急性骨髄性白血病(AML) 米：フェーズ MDSの延命効果 米：フェーズ 【用法・用量】 MDS5日間投与 米：申請準備中
irofulven (E7850)	DNA合成阻害により各種固形がんの効果に期待しています。	前立腺がん 米：フェーズ
Aloxi (E3270)	セロトニン(5-HT ₃)受容体拮抗に基づき、すでに米国で、がん化学療法および術後の悪心・嘔吐で承認を取得しております。	【剤形追加】 経口剤(がん化学療法における急性悪心・嘔吐予防) 米：承認
AKR-501	経口で効果が期待されるトロンボポエチン受容体のアゴニストです。	特発性血小板減少性紫斑病 米：フェーズ
amolimogene (E7101)	ヒトパピローマウイルス(HPV)に対する治療用DNAワクチンです。	子宮頸部異形成 米：フェーズ /
Lusedra (E2083)	一般名はfospropofolで、プロポフォールの水溶性プロドラッグで、米国で承認を取得しました。	成人の検査もしくは処置における鎮静 米：承認
Saforis (E6014)	グルタミン懸濁製剤です。化学療法に伴う口腔粘膜炎に対して保護作用を示します。	口腔粘膜炎 米：フェーズ

(3) 血管・免疫反応

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
ヒュミラ (D2E7)	一般名はアダリムマブで、ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体です。日本で関節リウマチの承認を取得しました。	関節リウマチ 日：承認 【適応追加】 乾癬 日：申請中 若年性関節リウマチ 日：フェーズ 強直性脊椎炎 日：フェーズ 関節の構造的損傷の防止 日：フェーズ クローン病 日：フェーズ / 潰瘍性大腸炎 日：フェーズ /
E5564	一般名はエリトランで、エンドトキシン拮抗作用を示し、POC試験において種々のグラム陰性菌由来のエンドトキシンに起因する重症敗血症で、目標としていた有効性および安全性が確認されました。	重症敗血症 国際共同治験：フェーズ
E5555	トロンピン受容体拮抗作用に基づき血小板凝集抑制作用と平滑筋増殖抑制作用を示します。	急性冠症候群 日米欧：フェーズ アテローム血栓症 日米欧：フェーズ
E6201	新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。	乾癬 米：フェーズ
T-614	炎症性のサイトカインの産生、リンパ球増殖および免疫グロブリン産生を抑制します。	関節リウマチ 日：申請中

(4) 消化器

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
バリエット/ アシフェックス (E3810)	プロトンポンプ阻害作用に基づき、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。さらに米国で青年期胃食道逆流症における短期治療の効能・効果を追加取得しました。	【適応追加】 青年期胃食道逆流症 米：承認 非びらん性胃食道逆流症 日：再申請準備中 【用法・用量追加】 逆流性食道炎 日：フェーズ / 【剤形追加】 長時間作用型製剤 米：フェーズ
ガスモチン	一般名はモサプリドで、選択的なセロトニン(5-HT ₄)受容体アゴニストであり、アセチルコリン遊離の増大を介して消化管運動促進作用および胃排出促進作用を示します。	機能性胃腸症 タイ：承認 マレーシア、インドネシア、 フィリピン：申請中 アセアン等6カ国：申請準備中

(5) 他疾患

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
イオメロン (E7337)	非イオン性造影剤として、コンピュータ断層撮影における造影等の効能・効果を日本で承認を取得しており、肝臓領域のダイナミックコンピュータ断層撮影における造影に関する用法・用量、剤形を追加しました。	【用法・用量、剤形追加】 肝臓領域ダイナミック コンピュータ断層撮影 日：承認
KES524	一般名はシブトラミンで、脳内の神経伝達物質であるセロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害に基づく中枢作用による満腹感の亢進と体内のエネルギー消費の亢進により、体重の減少効果を期待しています。	肥満症 日：申請中
クレブジン	DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。	慢性B型肝炎 マレーシア、タイ、インドネシア フィリピン、インド：申請中 アセアン等3カ国：申請準備中 中国：フェーズ 準備中
グルファスト	一般名はミチグリニドで、膵臓の細胞スルフォニルウレア受容体と選択的に結合し、膵臓からのインスリン分泌を促進することによって血糖の低下作用を発揮します。	糖尿病 マレーシア、タイ、フィリピン、 インドネシア、シンガポール：申請中 アセアン5カ国：申請準備中
E7210	微小気泡(マイクロバブル)が超音波を反射することを利用した造影剤です。	日：開発一時中断

9. 主なイベント

年月	概要
2008年4月	<ul style="list-style-type: none"> 次世代アルツハイマー病治療剤「E2012」、FDA（米国食品医薬品局）より臨床試験を再開してさしつかえない旨の通知を受領 <4月3日リリース> AMPA受容体拮抗剤「E2007」の開発状況について <4月11日リリース> ヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本で関節リウマチの効能・効果で製造販売承認を取得 <4月16日リリース> 欧州委員会が抗がん剤「MORAb-003」および抗がん剤「MORAb-009」をオーファンドラッグに指定 <4月16日リリース> 三光純薬株式会社、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社、日本光電工業株式会社と、ワーファリン投与患者様向けPT-INR簡易・迅速測定装置「コアグチェック XS」シリーズの販売に関する契約に合意 <4月17日リリース> 米国MGI PHARMA, INC.の買収による完全子会社化に伴う平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ <4月21日リリース> 「つらい疲れ」に、医薬部外品ドリンク剤「チョコラBBローヤル2」を日本で新発売（5月12日発売） <4月24日リリース> 肝臓疾患用剤・アレルギー用薬「強カネオミノファーゲンシー」、日本で販売開始
2008年5月	<ul style="list-style-type: none"> 英国国立医療技術評価機構（NICE）の認知症治療薬使用を制限するガイダンスの策定プロセスに関する控訴審において勝訴 <5月1日リリース> 中国に製薬用機械販売支援・メンテナンス会社を設立 <5月7日リリース> FDA（米国食品医薬品局）の諮問委員会が鎮静剤「fospropofol disodium」の承認推奨を採択 <5月8日リリース> 英国控訴院が英国国立医療技術評価機構（NICE）の認知症治療薬使用を制限するガイダンスの策定プロセスに関する決定を下す <5月9日リリース> ライオン株式会社と医療用医薬品の「バファリン」について日本における独占的販売権許諾に関する契約を締結 <5月12日リリース> ストックオプションとして新株予約権を発行する件 <5月14日リリース> ASCO（米国臨床腫瘍学会）の年次総会で当社のがん領域製品およびパイプライン化合物に関する臨床データなど16報の最新知見を発表 <5月16日リリース> 抗がん剤「E7389」、前治療歴の多い進行乳がん患者に抗腫瘍効果を示した臨床試験成績をASCO（米国臨床腫瘍学会）の年次総会で発表 <5月16日リリース> 非イオン性造影剤「イオメロン350」「イオメロン350シリンジ」、肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影に関する用法・用量等の追加承認を取得 <5月22日リリース> グラクソ・スミスクライン株式会社と鼻孔拡張テープ「ブリーズライト」シリーズの販売提携終了に合意 <5月29日リリース> 無担保社債の発行について <5月29日リリース>
2008年6月	<ul style="list-style-type: none"> ヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体「ヒュミラ 皮下注40mgシリンジ0.8mL」を日本で関節リウマチの効能・効果で新発売 <6月17日リリース> 連結子会社である株式会社クリニカル・サプライの株式の譲渡に関するお知らせ <6月19日リリース> ストックオプション（新株予約権）の割当に関するお知らせ <6月20日リリース> 抗がん剤「MORAb-009」に関するフェーズII試験の実施施設を欧州連合内に拡大 米国子会社のMorphotek, Inc.が米国立がんセンターと前立腺がん治療用モノクローナル抗体開発に関するライセンス契約を締結

年月	概要
2008年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「アシフェックス20mg」、米国で青年期胃食道逆流症の短期治療に係る追加承認を取得〈7月1日リリース〉 ・ 骨髄異形成症候群患者様を対象として「Dacogen」とサポーティブケアとを比較した欧州がん研究・治療機構（EORTC）により実施されたフェーズⅢ試験における有効性の予備解析結果を公表〈7月1日リリース〉 ・ スtockオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ〈7月7日リリース〉 ・ 術後24時間までの悪心・嘔吐の予防を効能・効果とする「Aloxi 注射剤0.075mg」を米国で販促開始〈7月9日リリース〉 ・ 骨粗鬆症治療剤「アクトネル錠17.5mg」、骨ペーজেット病に係る効能・効果の追加承認を取得、骨ペーজেット病用の新包装を追加〈7月16日リリース〉 ・ 米国における「アシフェックス」の特許侵害訴訟の控訴審で全面的に勝訴〈7月22日リリース〉 ・ 鎮静剤「fospropofol disodium」の承認申請に関するFDA（米国食品医薬品局）からの回答を受領、FDAは今後の承認にいたる方向性を示す非承認通知を発行〈7月26日リリース〉 ・ 中国子会社の衛材(中国)薬業有限公司がSTADA社（ドイツ）の中国販売子会社であるヘルスビジョンエンタープライズ社（香港）と糖尿病性神経因性疼痛治療剤「α-Lipon 300 STADA」の中国におけるライセンス契約を締結〈7月30日リリース〉 ・ 当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針の継続について〈7月31日リリース〉 ・ 米国子会社のMorphotek, Inc.がPivotal BioSciences, Inc.（米国）とLEC（Liver-Expression Chemokine）基盤技術の利用に関する契約を締結
2008年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンバイオ製薬株式会社と「ベンダムスチン塩酸塩」の日本における共同開発および販売に関する独占的ライセンス契約を締結〈8月18日リリース〉 ・ 制吐剤「Aloxi カプセル」、米国でがん化学療法に伴う悪心・嘔吐の予防の効能・効果で承認を取得〈8月24日リリース〉
2008年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 末梢の血の巡りを良くして、手足の冷えや肩こりに効く「ホットミン」を日本で新発売（9月16日発売）〈9月3日リリース〉
2008年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「にきび、肌あれ」に効く医薬品ドリンク剤「チョコラBBドリンクピット」を日本で新発売（10月15日発売）〈10月8日リリース〉 ・ 皮膚T細胞リンパ腫治療剤「Ontak」、FDA（米国食品医薬品局）より生物製剤追加承認申請に基づく承認を取得（迅速承認から完全承認への切り替え）〈10月16日リリース〉 ・ 英国貴族院より、英国国立医療技術評価機構（NICE）が英国控訴院での判決を不服として申し立てていた上告許可申請を却下したとの通知を受領〈10月29日リリース〉 ・ 肝臓疾患用剤・アレルギー用薬「グリチロン」、日本で販売開始 ・ アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」、英国で液剤の剤型追加承認を取得
2008年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ TorreyPines Therapeutics, Inc.（米国）との遅発性アルツハイマー病の関連遺伝子探索研究契約を完了、本研究において得られた研究資産の購入契約を締結〈11月11日リリース〉 ・ てんかん治療剤「Banzel」、米国でレノックス・ガストー症候群の効能・効果で承認を取得〈11月17日リリース〉 ・ 米国子会社のMorphotek, Inc.がペンシルバニア大学（米国）とがん領域における治療用抗体候補の開発に関する研究支援契約を締結 ・ 米国子会社のMorphotek, Inc.が進行中のがん領域における治療用抗体の探索研究および開発を推進するためハイデルベルク大学病院（ドイツ）および同大学の技術移転事務所と研究契約を締結
2008年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎮静剤「Lusedra」、米国で成人の検査もしくは処置における鎮静の効能・効果で承認を取得〈12月15日リリース〉 ・ 肝臓疾患用剤・アレルギー用薬「強力ネオミノファージェンシー」、台湾で販売開始
2009年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ てんかん治療剤「Banzel」、米国で販促開始